

「学校教育目標」と「令和7年度重点目標」に向けて

【学校教育目標】 知・徳・体の調和がとれ、進路を切り拓く力を持った生徒の育成

【R7重点目標】 真の実践力の育成

豊かな人間性

・豊かな心を持ち、自己の生き方を考え、他者と共に主体的に行動できる生徒の育成



【実践項目】 道徳教育・体験活動の充実 明るい挨拶と清潔な身なり けじめのある行動 美しい学校

健康・体力

・基本的な生活習慣を確立するとともに、進んで体力づくりに努め、自らの健康を管理できる生徒の育成



【実践項目】 家庭との連携・協力 体育の授業・行事・部活動の活発化 健康・食育に対する理解と自己の生活に生かす態度の育成

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- 基礎基本的な知識・技能を確実に習得できる
- 主体的に思考・判断・表現し、課題を解決することができる
- 他者と協働し、より考えを深め、広げることができる

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 学習したり体験したりして得た知識・技能を、確実に習得・定着しようとしている
- 未知の状況の中でも、既得の知識・技能を活用し、主体的に思考力・判断力・表現力等を発揮することで、解決に導こうとしている
- 意欲的に多様な他者と協働し学び合うことで、より考えを深め、広げようとしている
- また自己の考えを整理し習得を図ろうとしている

生徒の実態

- ・温和で素直な生徒が多い
- ・指示されたことにはまじめに努力する
- ・自ら学び、自分の考えを主張したり、感情を豊かに表現することに弱さがある

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする児童生徒への指導

- ・学級等集団づくりの充実
- ・一人一人の教育的ニーズの把握
- ・チーム学校としての生徒支援
- ・SC・SSW・外部機関等との連携、生徒・保護者支援

目指す生徒の姿

- ・夢と志を持ち、自ら学び、考え、協調し思いやる生徒
- ・学び合う・話し合う活動を通して、思考力・表現力を高め合うことができる生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- 学び合う・話し合う活動を通じた、思考・表現できる力など、教科横断的な資質・能力の育成
- 各教科の特質に応じた「見方・考え方」の育成
- 生徒用PCを効果的に活用した個別最適な学びの定着と家庭学習の充実

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 単元に身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 生徒が見通しを立てたり振り返ったりする時間の確保
- 体験的な学習、問題解決的な学習、自主的・自発的な学習の充実
- ペア学習やジグソー法等を用いた伝え合う授業の工夫
- 生徒用PCを効果的に活用した、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 授業改善と学習評価の工夫・改善
- 教職員の専門性を高める研修機会の充実
- 研究授業等、校内研修の充実
- ICTの積極的かつ効果的な活用
- 教育資源の活用と開発
- 育友会・学校運営協議会等との連携
- 生徒指導・教育相談の充実

安心・安全を守る

- いじめ・体罰の根絶
- 危機管理（防火・防災等）の徹底と意識の醸成
- 教育相談の充実
- 保・小・中学校と連携した保健指導の充実

開かれた学校作り

- 通信・HP等、情報発信の充実
- 地域の人材等の活用
- 学校運営協議会との連携
- 学校開放週間の実施
- 中学校区の保・小との連携